



やちよ 農業委員会だより



第130号

発行人 八千代町農業委員会会長 小竹 節 / 編集 農業委員会だより編集委員会

農業委員活動を考える



農業委員 幸田 行男
担当地区：佐野東，佐野西，
瀬戸井

農業委員に就任し、任期の半ばを迎えようとしておりますが、毎月提出される申請案件の確認や審議に苦勞しております。また、高齢化や労働力不足による耕作放棄地の増加が問題である現在、若い農業後継者の育成や農地の集積・集約化の推進が必要であると感じております。農地利用最適化推進委員と協力し八千代町の農業発展のため、農業委員として日々活動していきたいと思っております。



農業委員 小島 由久
担当地区：兵庫沼端，前田，
高野，伊勢山，根ノ谷，
菅谷西

農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の発生など日本の農業を取り巻く環境は、厳しい状況であります。また、度重なる自然災害による被害は、農業経営にも甚大な影響を及ぼしております。私は八千代町農業活性化のため、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止などの農地利用の最適化の推進や、担い手の育成・確保など地域農業の発展のため農業委員の一員として活動していきたいと思っております。



農業委員 小竹 淳
担当地区：水口，松本

農業委員として活動する中、案件の確認に苦慮しているところです。近年、温暖化による異常気象で各地で甚大な災害が多発していますが、農業においても例外ではありません。八千代町は、農業を基幹産業とする中、農地の集積と集約の整備をすることが急務と思っております。また、農業従事者の減少、高齢化が進む中、担い手の育成をすることにより産地の維持、地域の活性化にもつながり、次の世代が展望できるような微力ですが努力してまいります。



農業委員 高崎 隆
担当地区：西大山，塩本，
下山川，粕礼

農業委員活動を通して思うことは、農業を取り巻く情勢は、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増大など生産基盤の弱体化が進むとともに、人口減少に伴う市場の縮小や産地間競争の激化など、今後一層厳しい環境におかれています。このような情勢の中、八千代町農業委員会の一員として農地の集積・集約化や耕作放棄地の解消など農地利用の最適化に取り組み、活動力ある町の農業発展の力となれるよう努力してまいります。

結城市・常総市・八千代町農業委員情報交換会を開催

令和2年2月14日に常総市において、結城市・常総市・八千代町農業委員会の会長・職務代理人・地区代表者等による情報交換会を開催しました。

会議では、各農業委員会の活動状況報告をはじめ、農地に関する問題や農産物の販売状況等お互いが抱える様々な課題について熱心に意見交換を行いました。



農地を農地以外に利用するときは手続きが必要です

農地を農地以外に利用することを農地転用といいます。農地に住宅や車庫、農業用施設（倉庫・作業場・たい肥置場など）、資材置場、駐車場などに利用するときには、農地転用の許可等が必要です。農地転用の手続きが必要になる土地は、地目が田や畑などの農地ですが、地目が田、畑以外でも、現在耕作されている土地は、農地として扱われます。

農地を無断で転用することは農地法違反であり、転用の効力が生じません。工事の中止や原状回復等の命令が出されることもあります。さらに3年以下の懲役や300万円（法人は、1億円）以下の罰金という罰則の適用もあります。

上記のような罰則を受けることがないように、所有している土地の利用状況を把握し、農地以外に利用している土地の地目が農地でないか、確認をお願いします。

農地以外に利用している農地がある場合には、農業委員会にご相談願います。

農地利用実態調査について

お忙しい中、農地利用実態調査にご協力いただきましてありがとうございました。

ご回答がまだの方は、農業委員、農地利用最適化推進委員が訪問等により調査を実施しておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

調査結果については、農業委員会において情報を共有し、今後の農地の集積・集約化に役立ててまいります。



農業者年金でゆとりある老後を！

○農業者年金の6つのポイント

- ・農業者なら広く加入いただけます（要件あり）
- ・積立方式・確定拠出型で少子高齢化に強い年金です
- ・保険料は自由に決められます（月額2万円～6万7千円）
- ・終身年金で80歳前に亡くなられた場合は、遺族に死亡一時金があります
- ・税制面の優遇措置があります
- ・一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助があります

詳しい内容のお問合せは

八千代町農業委員会事務局 内線2120